

【会場】

九州大学病院（日本）、
大分大学（日本）、
株式会社 さわやか倶楽部（日本）

【概要】

「がん医療×新たな日常のデザイン」をテーマに、がんに関する情報発信・普及を目的として、北部エリアの4大学（九州大学・福岡大学・久留米大学・大分大学）が共同で市民公開講座を開催した。今回初めてのYouTubeによるLIVE配信形式での開催となったが、全面的な技術サポートのおかげで、始終トラブルもなく無事に実施する事ができた。



モニタに表示される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院の様子。

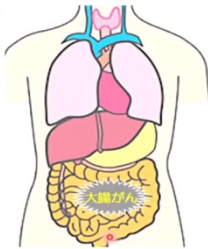
撮影場所：九州大学病院

がんになると何故困るのか？

がんは転移する

転移とは？

- がん細胞が発生した臓器から血管やリンパ管に入り込み、血液やリンパ液の流れに乗って肺、肝臓、骨、脳など離れた場所にある臓器やリンパ節へ移動し、そこで大きくなることである。
- 転移した臓器でがんが大きくなると、その臓器の働きが障害される。



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

インクルーシブデザイン

2004年からRCAと
インクルーシブデザイン
研究スタート。

インクルーシブデザイン
は「ともに」のデザイン



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院

スタンフォード大学でのMRI事例

核磁気共鳴画像法（かくじき きょうめい がそうほう）
MRI: magnetic resonance imaging



提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



発表する平井先生（右）。

撮影場所：九州大学病院